

小牧の養鶏

～名古屋コーチン～

名古屋コーチンと言えば、地鶏の代表で高級食材として全国に知られていますが、その発祥が小牧であることは、あまり知られていません。

今回の図書コーナーは、名古屋コーチンをテーマとした本を集めました。

明治時代の地鶏は、体が小さく産卵も少なかったため、地鶏にバフコーチン（九斤）という品種の鶏と交配をすすめ、地鶏改良に取り組みました。こうした努力と経験をまとめたものが「養鶏方案」（海部壮平／著）です。「養鶏方案」は、明治24年11月の『愛知県勸業雑誌』に掲載されています。

名古屋コーチンの生みの親と言われている尾張藩士の海部壮平は、養鶏に取り組みはじめますが、当時流行したコレラに襲われ、鶏が全滅するなど、大変な苦勞をしました。弟の正秀も兄・壮平を手伝い、兄弟で池之内の養鶏場を盛り立てました。

名古屋コーチンは、正式な品種名は「名古屋種」といい、その肉質は、歯ごたえがあり、「こく」のある旨みが特徴です。卵は、やや小ぶりで卵黄の色が濃く、味は濃厚です。

書名	著者・編者	出版社・出版者	請求記号
名古屋コーチン作出物語	入谷哲夫	ブックショップ「マイタウン」	AK646/1
小牧発祥！！名古屋コーチン	小牧商工会議所	小牧商工会議所	AK596/3
鶏	山口健児	法政大学出版局	646/ヤ
駒来（243号）『池之内にあった「海部養鶏場」』	小牧市文芸協会	小牧市文芸協会	
小牧の産業史話（小牧叢書14）	小牧市文化財資料研究委員会	小牧市教育委員会	AK602/3
愛知の養鶏史	愛知の養鶏史編さん委員会	愛知の養鶏史編さん委員会	A646/ア
あなたの知らない愛知県ゆかりの有名人100	山本博文	洋泉社	281.55/ヤ
Mr.Andoh's Pennine Diary	Takayoshi・Andoh/日記	Royd House	AK289/ア
とりせつ	名古屋コーチンもりあげたい	名古屋コーチン協会	A596/ナ
「愛知県勸業雑誌」（19号）	当館に所蔵はありませんが、国立国会図書館デジタルコレクションで閲覧することができます。		

読みたい本が見当たらない場合は、予約することができます。詳しくはカウンターまでお尋ねください。